

2019年3月29日

各位

株式会社 北海道銀行

有限会社さんぱいのシンジケート・ローン組成について

北海道銀行（頭取 笹原 晶博）は、有限会社さんぱい（本社 室蘭市、資本金 3 百万円、代表取締役 藤本 誠司）に対して、シンジケート・ローン（コミットメント期間付タームローン、2019年3月29日調印、組成総額4億5千万円）を組成いたしました。

同社は1985年7月に設立され、産業廃棄物の安定型最終処分場・管理型最終処分場の運営をはじめとした木くずリサイクルなどの中間処理および胆振管内の収集運搬業などを45haの登別事業所（登別市）において34年間にわたり展開しています。

今般のシンジケート・ローンによる調達資金は、同社が所有・運営する登別市の産業廃棄物最終処分場の空き土地に、管理型最終処分場（総事業費7億円、処分容量119,500m³）を新設する資金として充当するものです。

管理型最終処分場の残容量がわずかとなったことから昨年7月に着工し本年8月の供用開始に向け、建設を進めているところです。埋立許可品目は燃え殻、汚泥、紙くず、木くず、廃プラスチック類などでこれまで以上に受入れの幅が広がります。

同社は、これら事業活動を通じてモノづくり産業や建設業の一員として地域経済の活性化、循環型社会形成の推進、そして次世代の未来に向けた環境づくりを企業理念とし、その実現に向けて取り組んでいます。

シンジケート・ローンによる資金調達は、財務、収益内容について一定レベル以上の維持が可能であることを前提としており、優良企業としての社会的評価がなされています。

アレンジャーおよびエージェントは北海道銀行、参加金融機関は伊達信用金庫です。



【本社事務所】



【管理型最終処分場建設地の現在の様子】

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

有限会社さんぱい	代表取締役	藤本 誠司	TEL 0143-44-6106
株式会社 北海道銀行	営業推進部	山内	TEL 011-233-1069
	広報 CSR 室	小山・西東	TEL 011-233-1005